



～ 学校訪問 ～

[教育厚生常任委員会]



コロナ禍であったため、3年ぶりに各小中学校を訪問しました。
GIGAスクール構想により、タブレット、電子黒板を利用した授業や
オンラインで県外の学校との交流授業を行うなど、ICT教育が進
んでいると感じました。

各学校の特徴や取り組みの一部をお伝えします。

※児童生徒数は令和4年5月10日現在

大栃小学校 (児童数 19人)

- ◆ 全学年が複式学級
- ◆ 来年度から大栃小・中学校の特認校制度^{*}がスタート (予定)
- ◆ 教科担任制を導入
- ◆ 香南市吉川小学校との交流授業
- ◆ 昼休み英語教室を週1回実施



大栃中学校 (生徒数 24人)

- ◆ 保育園・小学校・中学校一貫教育の推進
- ◆ 保育園・小学校・中学校でフェイスブックを共同発信
- ◆ 徳島県木頭中学校や韓国の中学校とのオンライン交流
- ◆ 探究的な学習「物部未来学」の推進
- ◆ 山村留学制度の検討

大宮小学校 (児童数 154人)

- ◆ 教育目標「自分らしく 自分で動く 大宮っ子」
- ◆ 国際バカロレア教育認定校
- ◆ 探究的な授業づくり部会での小中合同授業研究会開催
- ◆ 国語科「書くこと」を重点に置いた取り組み



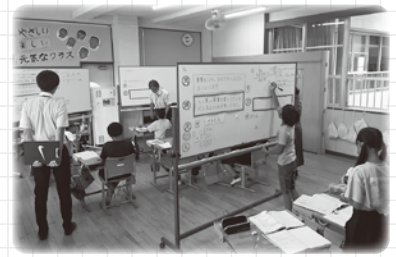
香北中学校 (生徒数 80人)

- ◆ 国際バカロレア教育候補校
- ◆ 今年度の重点取り組み
 - ① スキル (思考スキル・振り返りスキル) の育成
 - ② 行為主体性を育む (委員会・行事で“生徒の声”を重視)

* 特認校制度 = 香美市内の通学区域制限を外し、転入学を認める制度

片地小学校 (児童数 45人)

- ◆ 2年生・3年生、4年生・5年生が複式学級
- ◆ 特認校制度スタート
- ◆ 高知工科大学との連携
- ◆ 3年生、4年生の総合的な学習時間で龍河洞について学ぶ



楠目小学校 (児童数 213人)

- ◆ 研究主題『「ことば」を通してつながりを楽しむ子どもの育成』
- ◆ 読解力の基礎基本に注力
- ◆ 教科担任制を導入
- ◆ 授業のルール10カ条の推進 (学習の準備、時計を見て行動、正しい姿勢等)
- ◆ 学習指導の個別化の充実 (楠目タイム)

舟入小学校 (児童数 105人)

- ◆ 教育目標「よく考え、心豊かに生き生きと活動する舟入っ子の育成」
- ◆ 学びの取り組み
 - ①「課題解決型の授業づくり」のための授業改善と学力の定着
 - ②探究型の授業づくりとカリキュラムマネジメント



山田小学校 (児童数 469人)

- ◆ 教育目標「しなやかな心を持ち主体的に考え行動できる児童の育成」
- ◆ 「自ら切り開く子どもたちを育てる」校内研究の開催
- ◆ 探究的な学習のプロセスを活用した教科学習
- ◆ 学校教育目標や研究主題の実現に向け「民間コンサルチーム派遣事業」を実施

香長小学校 (児童数 81人)

- ◆ 研究主題「自ら動き、粘り強く、地域とともに伸び行く子どもを育てる」
- ◆ コミュニティスクール「香長っ子もりあげ隊」の実施
- ◆ 環境教育SDGsの推進
- ◆ 保育園・小学校連携での合同研修会や交流会実施



鏡野中学校 (生徒数 386人)

- ◆ 教育方針「一人ひとりを大切にする教育」
- ◆ 研究主題「対話的で深い学びの創造」
- ◆ 1年生の英語の授業はALT (外国語指導助手)と教員の2人体制で実施
- ◆ いじめアンケート調査を年2回以上実施